熱海観光局
ATAMI Tourism Bureau

PRESS RELEASE

2026 年 11 月 25 日
一般財団法人 熱海観光局

【熱海市】“あたみ桜”と梅の花が彩る早春の熱海へ

2027 年 1 月の熱海旅おすすめ情報

熱海芸妓の伝統と今を知り、華やかな舞とおもてなしに触れる大人旅



新しい年の幕開けは、日本らしい風情を味わう旅がしたいもの。温暖な熱海では、冬に咲く「あたみ桜」や梅の花、富士山を望む景色、受け継がれてきた伝統文化など、熱海ならではの新春の楽しみが待っています。今回は、明治時代から受け継がれてきた熱海芸妓の歴史や、伝統芸能を未来へとつなぐ人々の取り組みをご紹介。定期公演やお座敷遊びで触れる伝統芸能の魅力に加え、プロジェクションマッピングによる新たな文化発信や、芸妓と制作者の思いにも迫ります。伝統と新しい魅力が息づく熱海で、新年ならではのひとときを楽しんでみませんか。

熱海の最新ニュース＆イベント

早春の熱海では、十国峠パノラマケーブルカーの初日の出特別運行や熱海芸妓の新春特別公演をはじめ、新年を彩るイベントが目白押し。全国各地が冬本番を迎えるなか、熱海では穏やかな日差しのもとで、日本で最も早咲きといわれるあたみ桜や、梅が早くも開花。街中に春の華やぎが訪れます。MOA 美術館の国宝「紅白梅図屏風」を公開する特別展や、網代温泉ひもの祭りも見逃せません。新春の華やぎと冬の味覚を楽しむ熱海へ出かけてみませんか。

十国峠パノラマケーブルカー　初日の出運転

十国峠は、北に富士山、西に駿河湾、東に相模湾の景色が広がり、三浦半島や房総半島、ときには東京スカイツリーまで見渡せる絶景スポットです。元日は、森の駅箱根十国峠と日金山の山頂を結ぶ「十国峠パノラマケーブルカー」が午前 5 時から特別運行。相模湾から昇る初日の出を楽しむことができます。天候がよければ、ご来光に染まる美しい富士山の姿も。山頂にある「TENGOKU CAFE」では軽食やドリンクも提供されます。ご来光と富士山を拝み、新年を清々しい気持ちで迎えてみませんか。

・期間：2027 年 1 月 1 日（金祝）

＜報道関係者からのお問い合わせ先＞
一般財団法人 熱海観光局　広報担当：古川　mail@atami-tb.com　https://atami-tb.com/

・場所：田方郡函南町桑原 1400-20
・公式サイト：https://www.jukkoku-cable.jp/




湯めまちをどり 華の舞 新春特別公演

熱海芸妓が所属する置屋の組合であり、芸妓衆の稽古場でもある「熱海芸妓見番」。熱海の伝統文化をより多くの人に楽しんでもらおうと、毎週土曜、日曜に見番を一般開放し、芸妓の踊りを間近で鑑賞できる公演「湯めまちをどり華の舞」を開催しています。1 月 1 日（金祝）、2 日（日）、3 日（日）には新春特別公演を開催。新春ならではの華やかな踊りと、熱海の伝統芸能に触れるひとときを楽しんでください。

【湯めまちをどり華の舞　新春特別公演】
・場所：熱海芸妓見番（熱海市中央町 17-13）
・期間：2027 年 1 月 1 日（金祝）、2 日（日）、3 日（日）
・時間：各日 11:00～（1 回公演）

【MOA 美術館　熱海芸妓の踊り】
・場所：MOA 美術館（熱海市桃山町 26-2）2 階メインロビー
・期間：2027 年 1 月 1 日（金祝）、2 日（日）、3 日（月）
・時間：各日 13:00～（1 回）

・公式サイト：https://www.ataminews.gr.jp/spot/186



＜報道関係者からのお問い合わせ先＞
一般財団法人 熱海観光局　広報担当：古川　mail@atami-tb.com　https://atami-tb.com/

第 17 回あたみ桜　糸川桜まつり

毎年 1 月上旬～2 月かけて咲く、インド原産の寒桜の一種「あたみ桜」。日本でもっとも早咲きの桜といわれ、市内中心部の糸川遊歩道沿いでは、1 月 9 日から「糸川桜まつり」が開催されます。約 300m にわたって続く遊歩道では、川を覆うように咲き誇る桜を眺めながら、一足早い春の風景を感じることができます。期間中は夜桜のライトアップのほか、桜茶やお茶のサービス、大道芸、剣舞、バンド演奏など多彩なイベントも予定されています。

・場所：糸川遊歩道（熱海市銀座町・中央町）
・期間：2027 年 1 月 9 日（土）～2 月 7 日（日）
・公式サイト：https://www.ataminews.gr.jp/event/208/





©熱海市観光協会

MOA 美術館 リニューアル 10 周年記念名品展　国宝「紅白梅図屏風」

MOA 美術館のリニューアル 10 周年を記念し、創立者・岡田茂吉のコレクションから厳選した日本美術の名品を紹介する特別展を開催。毎年梅の時期に合わせて公開される尾形光琳の国宝「紅白梅図屏風」や野々村仁清「色絵藤花文茶壺」など国宝 3 件を同時公開するほか、奈良・平安時代の絵画、桃山美術、浮世絵、現代工芸など、各時代を彩る作品が一堂に会します。隣接する瑞雲郷梅園に咲き誇る梅花の風景とともに、日本美術の魅力を堪能することができます。

・場所：MOA 美術館（熱海市桃山町 26-2）
・期間：2027 年 1 月 9 日（土）～2 月 24 日（水）
・休館日：毎週木曜（※2027 年 2 月 4 日・11 日・18 日は開館）
・公式サイト：https://www.moaart.or.jp/event/bestcollection2027/




国宝　紅白梅図屏風　尾形光琳　江戸時代（18 世紀）

＜報道関係者からのお問い合わせ先＞
一般財団法人 熱海観光局　広報担当：古川　mail@atami-tb.com　https://atami-tb.com/

第 83 回熱海梅園梅まつり

1886 年（明治 19 年）に開園した熱海梅園は、日本で最も早咲きの梅で有名です。豊かな自然環境のもと、地域の人々によって守り育てられてきた梅は、昭和 44 年から半世紀以上にわたり、上皇陛下の誕生日を祝して献上されてきた歴史もあります。園内では、1 月 9 日から 3 月 7 日まで梅まつりを開催。樹齢 100 年を超える梅の古木を含め、60 品種・469 本の梅が咲き誇ります。期間中は足湯や土産店もオープン。大道芸や歌謡ショー、甘酒無料サービスなど多彩な催しが行われるほか、熱海まち歩きガイドの会による園内の無料ガイドも利用できます。家族で美しい梅の花と香りを堪能してください。

・場所：熱海梅園（熱海市梅園町 8-11）
・期間：2027 年 1 月 9 日（土）～3 月 7 日（日）
・公式サイト：https://www.ataminews.gr.jp/event/355





©熱海市観光協会

第 51 回 網代温泉ひもの祭り

港町・網代の冬の風物詩「網代温泉ひもの祭り」。1 月は 10 日、11 日の 2 日間開催されます。会場では、脂ののったアジの干物が炭火で焼かれ、来場者に振る舞われます。干物は各日 2,500 枚が用意され、なくなり次第終了となります。このほかにも、地元で親しまれている郷土料理のイカメンチやイカの塩辛をはじめ、サザエのつぼ焼き、あさり飯など、漁師町ならではのグルメをたっぷりと楽しむことができます。炭火焼きの干物と地元の味覚を楽しみに、ぜひ網代温泉へお出かけください。

・期間：2027 年 1 月 10 日（日）・11 日（月祝）
・時間：10:00～14:30
・場所：大縄公園（熱海市下多賀字大縄）
※駐車場台数に限りがあるため、来場にはなるべく鉄道やバスなど公共交通機関をご利用ください。
・公式サイト：https://ajirospa.com/





©網代温泉観光協会

＜報道関係者からのお問い合わせ先＞
一般財団法人 熱海観光局　広報担当：古川　mail@atami-tb.com　https://atami-tb.com/

熱海の街をめぐる謎解き「熱海探偵 花と記憶の謎」

熱海の街を巡りながら、過去に隠された秘密を解き明かす周遊型謎解きイベント「熱海探偵 花と記憶の謎」が、1 月 15 日から開催されます。参加者は、祖母について調べる女性から届いた依頼を受け、冊子とスマートフォンを使って街に隠された手がかりを探します。「あの夜咲いた花を、私は生涯忘れない。」という一通の手紙を手掛かりに、熱海の歴史や文化に触れながら謎を解き、祖母の知られざる過去に迫ります。対象は小学生以上、体験時間は 2 時間から。クリア特典のノベルティも用意されています。

・場所：熱海駅～熱海サンビーチ～熱海銀座～熱海芸妓見番エリア
・期間：2027 年 1 月 15 日（金）～
・公式サイト：https://mi-rai.info/atamitantei/



IMMERSIVE WORLD
イマーシブワールド®

イマーシブワールド®は、人の想像力を掻き立てる世界観を創り出す、完全オリジナルの没入体験ブランドです。
この商標は、ブランド独自の品質基準を満たしたコンテンツにのみ付与される、没入体験の品質保証マークです。

あたみ桜 四季の道 桜まつり

JR 伊豆多賀駅から徒歩約 7 分の場所にある「四季の道」は、熱海高校まで約 700 メートル続く遊歩道で、南熱海エリアのおすすめ桜スポット。約 100 本のあたみ桜が植えられ、1 月下旬から「あたみ桜四季の道桜まつり」が開催されます。目の高さで咲く桜を眺めながらのんびり歩けば、途中には多賀湾を一望できる展望広場も。期間中の土曜・日曜には、長浜海浜公園内の「うみえーる長浜」から無料送迎バスが約 30 分間隔で運行します。南熱海の春を感じる散策に出かけてみてはいかがでしょうか。

・場所：熱海市上多賀（JR 伊東線伊豆多賀駅から熱海高校までを繋ぐ「四季の道」沿い）
・期間：2027 年 1 月 23 日（土）～2 月 7 日（日）※開花状況により期間の変更あり
・送迎バス運行時間：午前 10 時うみえーる長浜発、最終午後 3 時うみえーる長浜着（乗車時間約 5 分）
※会場付近に駐車場はありません。
・公式サイト：http://izutaga.jp

＜報道関係者からのお問い合わせ先＞
一般財団法人 熱海観光局　広報担当：古川　mail@atami-tb.com　https://atami-tb.com/





新春は熱海芸妓の舞を楽しもう！ 受け継がれる伝統と新たな魅力

古くから温泉地として栄え、全国から多くの人が訪れる熱海。旅館や料亭のお座敷で、踊りや唄、三味線などを披露し、宴席に華を添えてきたのが、熱海芸妓（げいぎ）です。熱海の芸妓文化は明治時代に始まったとされ、時代とともに形を変えながら現在まで受け継がれています。熱海の歴史とともに育まれてきた伝統文化に触れてみませんか。

■熱海芸妓見番
https://www.atami-geigi.jp/
■熱海芸妓見番【湯めまちをどり華の舞】
https://www.ataminews.gr.jp/spot/186

熱海の芸妓文化とは？

芸妓（げいぎ）は、日本舞踊や三味線、唄などの伝統芸能を身につけ、お座敷や宴席で披露するプロフェッショナルです。関東では「芸妓（げいぎ）」「芸者」、関西では「芸妓（げいこ）」と呼ばれ、踊りや演奏だけでなく、会話やおもてなしを通じて宴席を華やかに彩ります。




熱海芸妓の歴史は、明治 10 年にさかのぼります。遊芸師（芸事の師匠）の阪東三代吉が熱海の宿に滞在する客に踊りや唄の稽古をつけたことが始まりとされ、温泉地の発展とともに広がっていきました。昭和 7 年には熱海芸妓組合が設立。昭和 25 年の熱海大火で街は大きな被害を受けましたが、昭和 29 年に現在の見番が完成し、その立派な建物から「東海一の芸妓組合」と呼ばれました。

熱海観光がもっともにぎわった昭和 30～40 年代には、1,000 名以上の芸妓がいたといわれています。現在は約 70 名が活動し、踊りや三味線、唄などの技芸を磨いています。

芸妓が所属する「置屋」は、芸妓の活動を支える拠点です。「見番」は置屋の組合であるとともに、芸妓たちが日々稽古を重ねる場所でもあります。また、芸妓が宴席で活躍する場を「お座敷」、芸妓の世界は花柳界（かりゅうかい）と呼ばれます。熱海芸妓見番は、こうした芸妓文化を支える大切な拠点となっています。

＜報道関係者からのお問い合わせ先＞
一般財団法人 熱海観光局　広報担当：古川　mail@atami-tb.com　https://atami-tb.com/





芸妓の舞を間近に楽しむ「熱海をどり」「湯めまちをどり 華の舞」

熱海芸妓見番では、毎週土曜・日曜に「湯めまちをどり 華の舞」が開催され、芸妓の舞や演奏を間近で楽しめます。1 月 1 日、2 日、3 日には新春特別公演が行われるほか、MOA 美術館でも正月三が日に熱海芸妓の舞が披露されます。

地元の人々はもちろん、観光や来訪のお客様にも芸妓文化を楽しんでもらおうと、平成 2 年に企画されたのが「熱海をどり」です。熱海芸妓見番の新館が完成した日を記念し、例年 4 月 28 日・29 日に開催されます（令和 9 年は開催中止）。芸妓たちが日頃の稽古で磨いてきた踊りや唄を披露する本格的な舞台で、熱海の名所や歴史を題材にした演目が上演されることもあります。



芸妓の舞台では、踊りを披露する「立方（たちかた）」、三味線を弾きながら唄う「地方（じかた）」が息を合わせて演目を繰り広げます。扇の使い方や袖の動き、手首の繊細なしぐさ、踊りの間合いなど、芸妓ならではの優雅な表現にも注目です。

また、見番に隣接する「熱海芸妓茶屋」では、昼席と夜席が設けられ、抹茶やお菓子、お弁当などを楽しみながら、芸妓との交流やお座敷遊びを体験することができます。芸妓の美しい所作やおもてなし、普段はなかなか体験できない粋な伝統文化にもぜひ触れてみてください。

＜報道関係者からのお問い合わせ先＞
一般財団法人 熱海観光局　広報担当：古川　mail@atami-tb.com　https://atami-tb.com/


å

伝統文化を現代の映像表現で伝える「熱海芸妓 光映絵巻」

熱海芸妓の文化を新たな形で発信する取り組みとして注目したいのが、12 月 27 日まで開催される「熱海芸妓 光映絵巻～芸妓見番プロジェクションマッピング～」です。歴史ある見番の建物に映像を投影し、熱海の歴史や芸妓文化を現代の技術で表現します。

題材となっているのは熱海温泉と熱海芸妓の歴史。明治時代に熱海へやってきた少女の成長や、1950 年の熱海大火から復興する街の姿などを描き、熱海の歩みを音と映像の世界でたどります。さらに、「湯めまちをどり 華の舞」をモチーフにした、芸妓たちの華やかな世界も表現。伝統と新しい映像表現が融合した、熱海ならではの“ネオレトロ”な体験を楽しめます。開催中の土曜には、見番向かいのビル 1 階でドリンクが無料で配布されるサービスも実施されます。熱海の夜散歩を楽しみながら、ぜひ足を運んでみてください。

期間：2026 年 11 月 28 日（土）～12 月 27 日（日）
※11/28、12/5、12、19、26 は宿泊者限定でドリンク無料サービスあり（18:00～21:00）。
時間：18:00～21:00
場所：熱海芸妓見番（熱海市中央町 17-13）
※天候等の理由により、中止となる場合があります。
・公式サイト：https://mi-rai.info/atamigeigibgm/





IMMERSIVE WORLD
イマーシブワールド®

＜報道関係者からのお問い合わせ先＞
一般財団法人 熱海観光局　広報担当：古川　mail@atami-tb.com　https://atami-tb.com/

インタビュー：熱海の芸妓文化を支え、伝える若者たち

熱海の伝統文化を受け継いでいるのは、日々稽古を重ね、芸を磨き続ける芸妓たち。一方で、新たなアプローチで熱海の芸妓文化を発信する人たちもいます。今回は、熱海芸妓として日々公演、お座敷、稽古と忙しく飛び回る芸妓の琴千代さんと、「熱海芸妓 光映絵巻～芸妓見番プロジェクションマッピング～」を制作した株式会社リバティー みらい部・アートディレクターの荻原裕也さんにお話を伺いました。

「こんなお姉さんになりたい」と思ってもらえる芸者になりたい－熱海芸妓・琴千代さん

19 歳で芸妓の道に入った琴千代さん。キャリア 10 年以上になりますが、熱海芸妓の中ではまだ若手です。お稽古後の見番に伺うと、「琴ちゃん～」といろんなお姉さんたちの声がかかり、温かな家族のような雰囲気が伝わってきました。

もともと着物を着た女性に憧れがあったという琴千代さん。熱海でアルバイトをしていたときに知り合った方のお母さんが置屋をしていたことが、この世界へ入るきっかけになったそう。踊りや唄など、伝統芸能の経験はなく、ゼロからのスタートでした。

熱海芸妓は基本となる日本舞踊に加え、端唄、常磐津、長唄、鳴り物などの邦楽、さらに所作を身につけるための茶道や華道など、幅広い伝統芸能や技能を学ぶ必要があります。踊りを担当する立方、伴奏音楽を担当する地方に分かれて専門性を高めていくのが基本ですが、琴千代さんはさまざまな芸事に意欲的に取り組んでいます。

「唄や三味線は上手なお姉さん方にはとても及ばないのですが、苦手なことこそお稽古をしようと思います。踊りをするには音を聞けた方がいいというように、踊りも音楽も所作も、それぞれにつながりがあるんですよね」

明治から続く熱海芸妓の伝統については、「時代によって変わっていくところはあると思いますが、私自身はお姉さんたちから教えていただいたことを受け継いでいきたい」と話す琴千代さん。熱海芸妓置屋連合組合の小笠原亜紀子組合長によると、毎年 4 月には、熱海花柳界の始祖である坂東三代吉師の菩提寺で、芸事に使えなくなった三味線、扇子などの道具を焚き上げる「撥扇塚（はっせんづか）供養祭」を行っているそう。普段使っている道具に感謝するとともに、芸妓たちが受け継いできた歴史を振り返る機会になっているといいます。

「私は、礼儀や美しい所作を身につけ、いるだけで場が華やぐような芸者さんに憧れているんです。いつか後輩たちから『こんなお姉さんになりたい』と思ってもらえる存在になりたい」と語ってくれた琴千代さん。おっとりとしたあどけない語り口の中にもしなやかな意志を感じさせるその姿には、熱海芸妓の受け継がれてきた歴史と未来がたしかに宿っていました。





＜報道関係者からのお問い合わせ先＞
一般財団法人 熱海観光局　広報担当：古川　mail@atami-tb.com　https://atami-tb.com/

芸妓の歴史を学び、熱海の知らなかった魅力に出会いましたー株式会社リバティー みらい部・荻原裕也さん

熱海芸妓の歴史や文化を、映像と光で表現した「熱海芸妓　光映絵巻～芸妓見番プロジェクションマッピング～」。企画・制作を手掛けたのは、静岡市に本社を置く株式会社リバティー みらい部でアートディレクターを務める荻原裕也さんです。

制作にあたり、まず取り組んだのは熱海の芸妓文化を知ること。「湯めまちをどり　華の舞」を鑑賞し、熱海を代表する芸妓として知られた松千代姐さん（前熱海芸妓置屋連合組合組合長・西川千鶴子さん）にも話を伺いました。

「初めて芸妓さんの踊りを見て、扇子の動き、着物の布の動きなど、一つひとつの所作がとてもきれいだなと思いました。音楽も印象的でしたね。その動きと音を、プロジェクションマッピングでもどうしても表現したいと思ったんです」

通常の CG では、動きがどうしても機械的になってしまいます。そこで荻原さんは、芸妓の踊りを再現するために 1 コマずつ手描きで絵を描くことに。10 数秒のシーンのために約 180 枚の絵を描いたそうです。完成した映像では、そのしなやかな所作が見事に表現されています。

また、図書館に通い、『熱海温泉誌』を熟読。熱海芸妓のルーツがかつて宿場として栄えた三島にあることや、明治時代に熱海・小田原間に日本初の人車鉄道が開通し、熱海温泉の発展に繋がったことなど、史実をもとにストーリーを組み立てていきました。

「資料を読んだり、お話を聞いたりするなかで、熱海のいろんな歴史や文化を知り、もっともっと知りたくなっていきました。今回のストーリーでは熱海の歴史と現在を表現しているので、今の熱海のレトロモダンなイメージや、花火などの要素も取り入れました」

1 月 15 日からは、熱海の街を舞台にした謎解きイベント「熱海探偵　花と記憶の謎」もスタート。「熱海芸妓　光映絵巻」と共通の主人公が登場し、ストーリーにもつながりがあるのだそう。ぜひプロジェクションマッピングと合わせて楽しんでください。

「レトロとかスイーツとか以外にも、熱海には貴重な歴史や文化があることを、若い世代にも知ってもらい、親しんでもらえたらいいなと思っています」

今回の制作を通じて、荻原さん自身が熱海の新たな魅力を発見したように、これから熱海を訪れる人たちにも熱海の歴史や文化に目を向けてもらえたらと話してくれました。





＜報道関係者からのお問い合わせ先＞
一般財団法人 熱海観光局　広報担当：古川　mail@atami-tb.com　https://atami-tb.com/

熱海伝統のお座敷体験ができる旅館

熱海には、お座敷に芸妓さんを呼び、伝統のお座敷遊びを楽しむことができる旅館も数多くあります。料金は 2 時間 1 座敷で 2 万円台～（芸妓 1 名の場合）が目安。おもてなしのプロである芸妓さんとの会話や遊びを通して、熱海の伝統文化に触れられます。ここでは、公演やプロジェクションマッピングを楽しむのに最適な、見番近くにある老舗旅館をご紹介。温泉や街歩きと合わせて楽しんでください。

三平荘

中心市街地にありながら、緑豊かで静けさに包まれている「三平荘」。数寄屋造りの趣ある旅館で、全 11 室ある客室はいずれもゆったりとしており、一室ごとに設えが異なるのも魅力です。露天風呂・半露天風呂付きの客室のほか、「上の湯」「下の湯」2 種類の露天風呂でも熱海温泉の湯を堪能できます。近海の魚介類や旬の野菜を使ったオリジナル会席料理も評判。館内の宴会場では芸妓を招いての宴席手配のほか、7 月の来宮神社例大祭・こがし祭りの時期には、熱海芸妓による「熱海をどり」が披露されます（2027 年開催は未定）。温泉や美食とともに、熱海芸妓の舞に触れるひとときを楽しんでみてはいかがでしょうか。

・場所：熱海市水口町 1-7
・公式サイト：https://sanpeiso.jp/



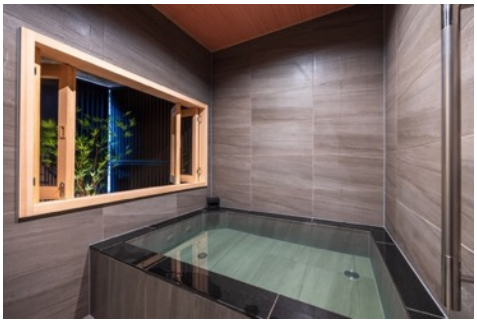


山木旅館

初川沿いにある熱海芸妓見番に隣接する、昭和初期創業の老舗旅館「山木旅館」。数寄屋造りの純和風建築が趣を残す一方、客室は 2022 年 12 月に全室リノベーションされ、落ち着いた和の空間でくつろげます。全室、朝夕ともに部屋食で、旬の食材を取り入れた本格和風会席料理を堪能できるのも魅力。団体旅行でなくても、夕食時に客室で芸妓とのお座敷遊びを楽しめる体験プランを用意しています。熱海の中心街に位置するため、温泉や美食はもちろん、街歩きや地域の食文化も満喫できます。歴史ある旅館での寛ぎとともに、熱海ならではの芸妓文化に触れる、ひと味違った夜を楽しんでください。

・場所：熱海市中央町 14-9
・公式サイト：https://www.yamakiryokan.co.jp/





＜報道関係者からのお問い合わせ先＞
一般財団法人 熱海観光局　広報担当：古川　mail@atami-tb.com　https://atami-tb.com/

旅館 立花

海まで徒歩 1 分、目の前に親水公園が広がる「旅館 立花」。客室は一室ごとに間取りや趣が異なり、海側の部屋からは熱海の海を間近に望めます。夕食は、名物の鯛めしや金目鯛の煮付けをはじめ、伊豆の海の幸をふんだんに取り入れた会席料理を部屋食で。源泉 100%かけ流しの大浴場をはじめ、屋上展望露天風呂や 2 つの貸切温泉で湯めぐりも満喫できます。8 名以上の団体向けには、飲み放題やカラオケ、個室・宴会場の手配が付いた宴会プランも用意。芸妓の手配についても相談できます。忘年会や新年会はもちろん、特別な記念日にも訪れたい、温かなもてなしが魅力の宿です。

・場所：熱海市昭和町 5-13

・公式サイト：https://www.ryokantachibana.com/





熱海観光局について

熱海観光局は、日本有数の温泉地・静岡県熱海市の観光振興を担う一般財団法人です。2024 年 7 月に設立され、熱海商工会議所、熱海市ホテル旅館協同組合連合会、熱海市観光協会連合会はじめ、地域経済を支える各団体と連携して活動しています。温泉、海、山といった豊かな自然や、四季折々の花々や花火大会、文化・芸術イベントなど多彩な魅力を国内外に発信し、都心から最短 29 分で訪れられる温泉リゾートとして、懐かしさと新しさが調和する体験を提供しています。「愛され、選ばれる熱海へ。観光の力で未来をつくる」を目標に、地域と連携した持続可能な観光地づくりを進めています。

HP: https://atami-tb.com/
公式 Instagram: https://www.instagram.com/atami_tourism
公式 Facebook: https://www.facebook.com/atamitourismbureau
公式 X: https://x.com/atamikankokyoku
公式 LINE: https://lin.ee/OVZYNb4
公式 YouTube: https://www.youtube.com/@atami_tourism

＜報道関係者からのお問い合わせ先＞
一般財団法人 熱海観光局　広報担当：古川　mail@atami-tb.com　https://atami-tb.com/